



■教育

子どもたちが確かな学力と豊かな心を身につけ、市の将来を担う人材として育てていくためには、「個々の子どもの成長のためにはどうするか」という視点が大切です。そこで、幼保・小・中「12年間」の学びと育ちをつなげる一貫教育や、地域ぐるみで子どもたちの成長を見守り、支える取組みを教育委員会と連携して進めます。

■産業振興

新たな工業用地の創出や、企業誘致に向けたワンストップ体制の構築など、企業誘致・拡張支援に向けた取組みを進めます。復興の進む東北を重点地域として、三州瓦の販路拡大に力を入れます。

■防災対策

危機・災害発生時の対応能力を高めるため、防災教育に力を入れ、市民・地域・学校の連携を含めた地域防災力を強化します。また、防災訓練については、事業者や消防団、関係機関とも連携し、災害状況を想定した実効性の高い訓練を実施します。

■高齢化への対応

認知症の「早期発見・早期診断・予防・啓発」を効率的に行う体制の整備、認知症グループホー

ムの設置支援、権利擁護センターの設置などを進めます。

高齢者の外出支援、生きがい・健康づくりを応援する取組みである「生涯現役のまちづくり」を、現在実施中の2地区(高浜南部・吉浜)から全市に広げて展開します。

最後に、今後の決意を、一言、お願いします。

高浜市のまちづくりのキャッチフレーズは「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」。高浜市は「自分たちの家」、市民は、一つの「家族」。だからこそ、互いに顔と顔を合わせ、家である「高浜市」について、どうしたらもっと住み心地がよくなるかを語り合い、役割分担しながら汗を流していくことが大切です。

高浜市を未来へとつなげていくため、「自分たちのまちは、こうあってほしい」という想いを、一人ひとりが持ち、「私のまち『高浜市』は：」と「一人称で語れるまち」をめざします。

大家族のような思いやりや絆、高浜市に暮らす日常の「心地よさ」が感じられ、「住んでよかった」と思っていただけるよう、将来を見据えて取組みを進めます。

